

「一般国道9号 木戸山峠道路改修」の新規事業化の発表に係る知事コメント

本日、国土交通省から、「一般国道9号 木戸山峠道路改修」の新規事業化が発表された。

国道9号の山口市阿東篠目から宮野上間については、連続雨量の事前通行規制による長時間の通行止めなど防災上の課題のみならず、道路構造物の老朽化や、狭隘なトンネルの建築限界不足など複合的な課題を抱えており、これらの解消が急務であることから、地元期成同盟会とも連携しながら、これまで機会あるごとに、国に対し、その早期整備を訴えてきたところである。

こうした中、まずは、その一部区間である「一般国道9号 木戸山峠道路改修」が新規事業化されたことは、大変嬉しく思っている。

国道9号は、地域経済や観光振興を支えるとともに、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成する観点からも重要な幹線道路であることから、国においては、当該道路の整備にスピード感を持って取り組んでいただくよう期待している。

県としても、地元山口市と緊密に連携し、事業の円滑な推進に向けた環境整備等に積極的に取り組んでいく。

令和7年4月1日

山口県知事 村岡 嗣政